

平成25年3月期
決算説明資料

平成25年6月26日

 静甲株式会社


Listed Company 6286

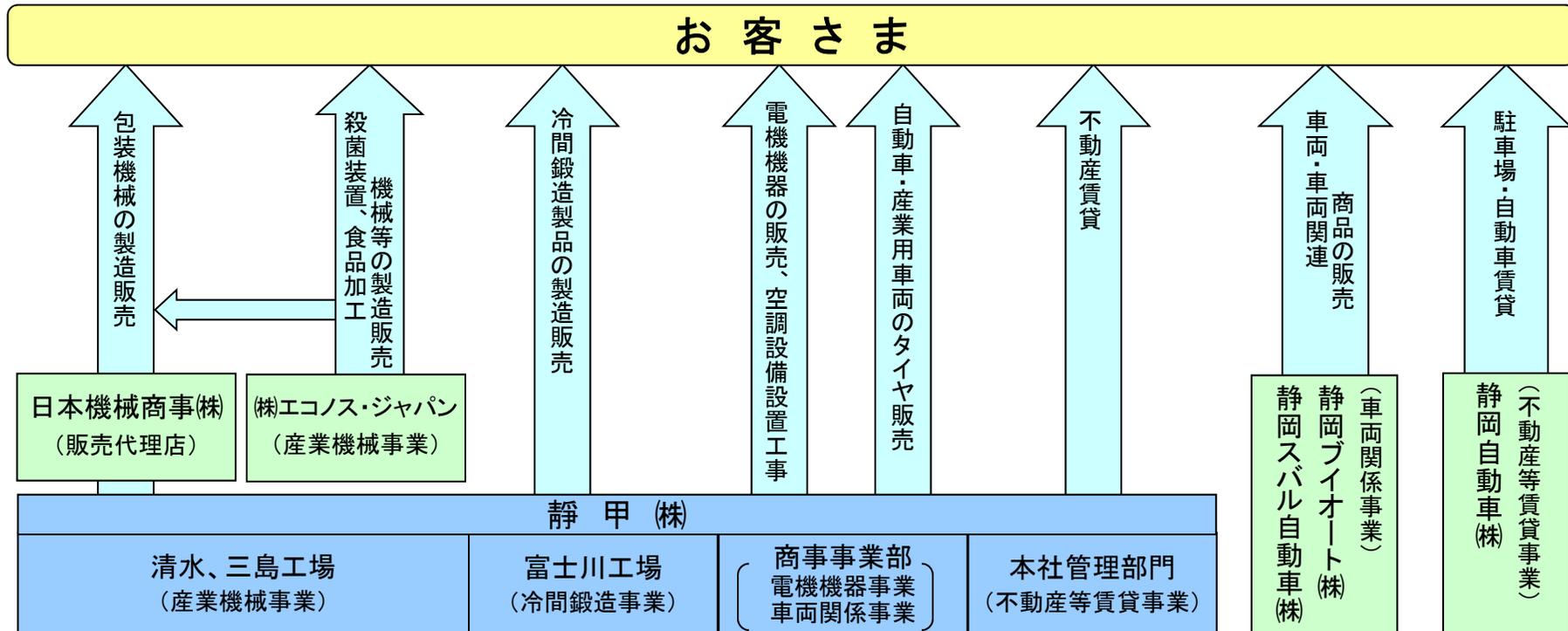
目 次

会社概要	P 1
グループ概要(連結子会社)	2
平成25年3月期 業績の概要(連結)	3 ~ 7
業績の推移(連結)	8
連結財務諸表	9 ~ 12
業績の推移(個別)	13
個別財務諸表	14 ~ 16
トピックス	17
平成26年3月期業績予想について	18

会社概要

会社名	静甲株式会社
設立	昭和14年5月18日
上場市場	大阪証券取引所 J A S D A Q 市場（平成2年10月 上場）
発行済株式総数	6,482,229株（自己株式1,094株を除く。単元株式数 100株）
代表者	取締役社長 鈴木恵子
本社所在地	静岡県静岡市清水区天神二丁目8番1号
資本金	13億3千7百万円
売上高	連結 252億6百万円 個別 91億6千万円（平成25年3月期）
従業員数	連結 614名 個別 288名（平成25年3月31日現在）
事業内容	<ul style="list-style-type: none">■液体自動充填機などの自動包装プラントの製造販売■冷間鍛造製品の製造販売■FA（ファクトリーオートメーション）機器、空調設備、モーター、非常用電源設備、エレベーターなどの総合電機設備機器の販売及び電機・空調設備工事■自動車・産業用車両のタイヤ販売
連結子会社	日本機械商事(株)（本社：東京都）、静岡スバル自動車(株)、(株)エコノス・ジャパン、静岡自動車(株)、静岡バイオート(株)

グループ概要（連結子会社）



■ 連結子会社の状況（平成25年3月31日現在）

会社名	資本金	当社の議決権比率	主な事業内容
日本機械商事株式会社(本社:東京都)	150,000千円	100%	包装機械の販売
静岡スバル自動車株式会社	50,000	100	自動車の販売修理
株式会社エコノス・ジャパン	30,000	100	殺菌装置、食品加工機械等の製造販売
静岡自動車株式会社	16,000	100	駐車場業・レンタカー業
静岡バイオオート株式会社	20,000	100	輸入自動車の販売修理

(注) 静岡バイオオート株式会社は、静岡スバル自動車株式会社の100%子会社です。

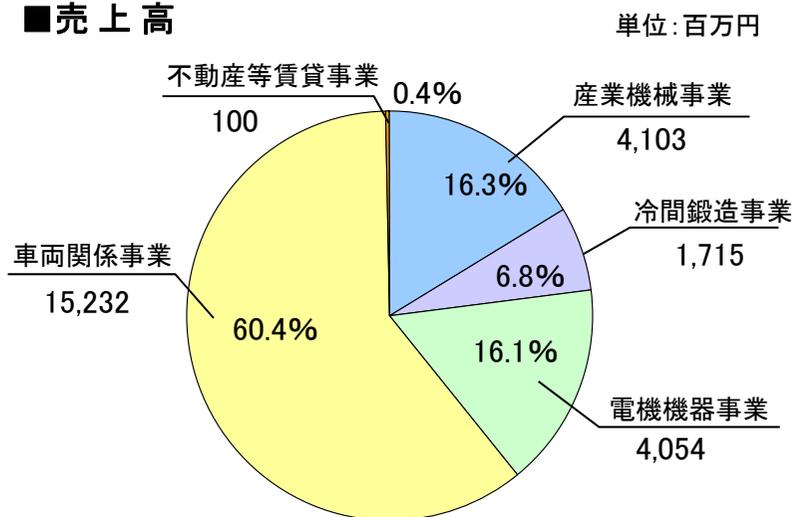
平成25年3月期 業績の概要（連結）

当連結会計年度におけるわが国の経済は、長期化する欧州債務問題及び新興国経済の減速を背景に厳しい状況となりました。年度末には新政権の経済財政政策への期待感から、株価の回復や円高の修正がすすみましたが、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。このような経済環境のなかで当社グループにおきましては、お客さまのニーズの取り込みや販売店との関係強化を図り、安定した受注確保と経営効率の向上に取り組んでまいりました。また、「防災・省エネ・IT」をキーワードに設備投資を実施してまいりました。各セグメントの業績については、産業機械事業、冷間鍛造事業及び電機機器事業は前年同期の実績を下回りました。一方、車両関係事業においては新型車の販売が好調であったことに加え、平成24年9月に終了したエコカー補助金の効果により前年同期の実績を大きく上回りました。

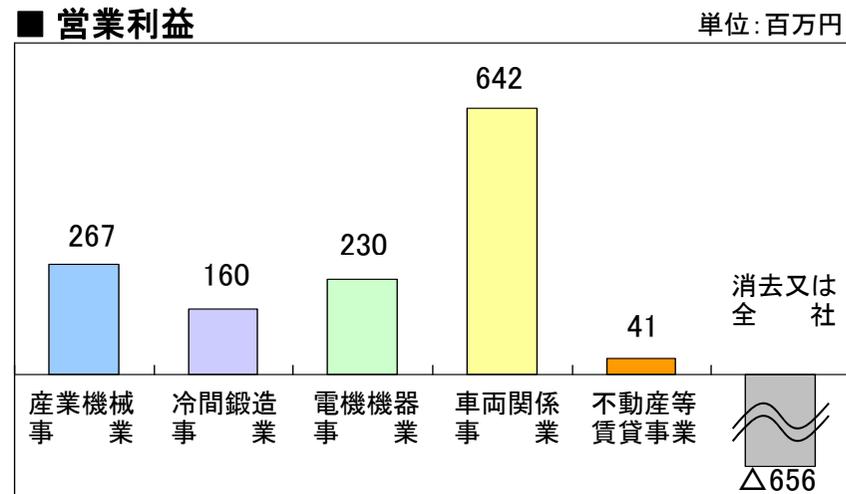
これらの結果、当社グループの売上高は前年同期比10.2%増の252億6百万円となりました。利益面では、車両関係事業の増収が大きく寄与し、経常利益は前年同期比36.2%増の7億3千6百万円、当期純利益は前年同期比237.0%増の4億4千1百万円となりました。

セグメント別売上高・営業利益

■ 売上高



■ 営業利益



(注)「消去又は全社」は、主にセグメント別に配賦することができない当社の管理部門に係わる費用です。

各事業セグメントの業績

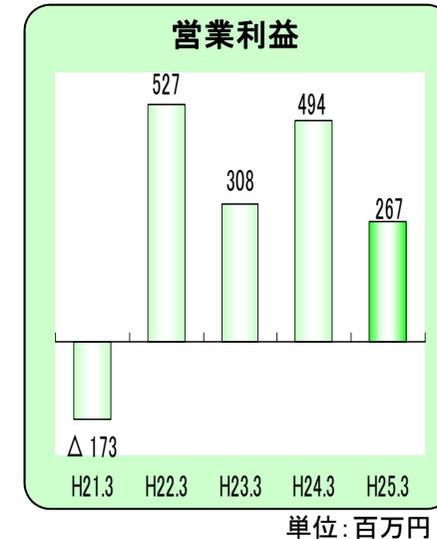
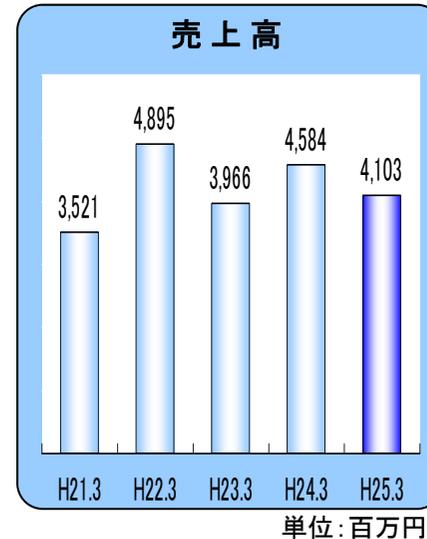
— 産業機械事業 —

業績

製品競争力の強化を目的として新製品の開発に取り組み、また、内覧会を実施するなど、受注獲得に取り組んでまいりました。しかし、主要な販売先である食品やトイレタリー業界をはじめとして、国内景気の先行き不透明感から計画の延期や中止が発生して厳しい市況となりました。これらの結果、改造工事案件の売上は増加しましたが、大型設備の売上は減少し、売上高は前年同期比10.5%減の41億3百万円となりました。利益面では、開発要素の多い案件を売り上げたことによる原価高及び新製品開発に伴う研究開発費が増加したため、営業利益は前年同期比45.8%減の2億6千7百万円となりました。



ケチャップ充填ライン



対処すべき課題

産業機械事業では、お客さまのニーズに合った製品づくりのために、変動費管理を柱とした原価管理を進めるとともに、機械の標準化も進めてまいります。また、製品競争力の強化のために新製品の開発と技術開発にも継続的に取り組んでまいります。さらに、設計品質の向上や作業効率の改善を目指し、設計情報のデータベース化を進め、業務の改善にも取り組んでまいります。

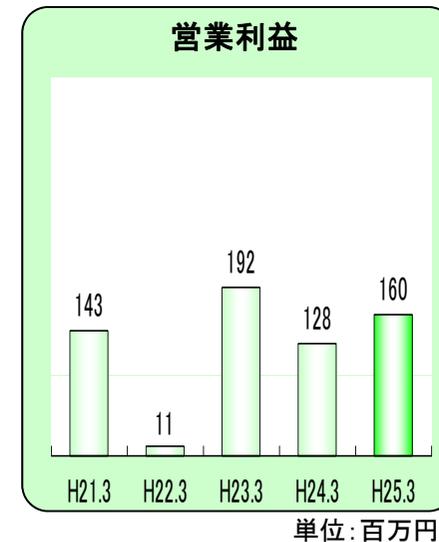
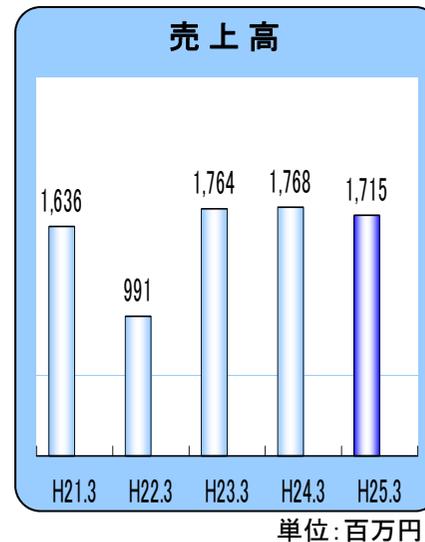
— 冷間鍛造事業 —

業 績

自動車部品は、納入先の北米向け輸出が好調であったことから売上を伸ばしましたが、電動工具部品及び事務機・産業機械部品では受注が減少いたしました。これらの結果、売上高は前年同期比3.0%減の17億1千5百万円となりました。利益面では、変動費管理による原価低減に努めた結果、営業利益は前年同期比24.8%増の1億6千万円となりました。



新規受注の電動工具部品等



対処すべき課題

冷間鍛造事業では、幅広い分野から安定した受注を確保するため、引き続き新規ユーザーの開拓に努めるとともに既存製品の販路拡大にも注力してまいります。また、生産設備の管理項目の見直しと老朽化した生産設備の修繕を実施し、生産効率と付加価値を向上させ、原価低減に取り組んでまいります。さらに、独自技術の開発にも取り組んでまいります。

— 電機機器事業 —

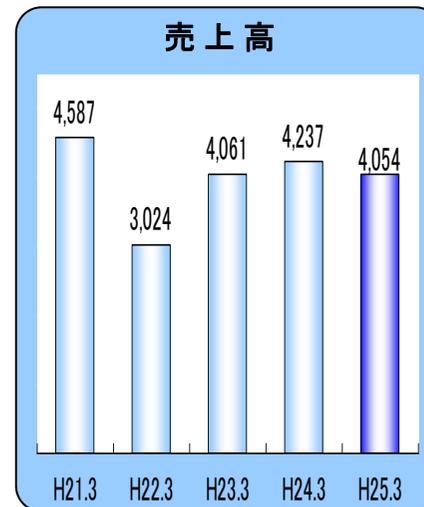
業 績

空調・冷熱機器は、市況は厳しいものの、大型設備を売り上げたほか、新規開拓に努めたことにより売上を伸ばしました。しかし、主力のFA関連機器は、半導体や液晶関連装置の機械メーカーなどを中心に需要が低調で厳しい市況となりました。また設備機器においても、前年同期にあったような大型機械設備の売上がなかったため、前年同期の実績を下回りました。これらの結果、売上高は前年同期比4.3%減の40億5千4百万円となりました。営業利益は、空調・冷熱機器において利益率の高い大型設備を売り上げたため前年同期比9.2%増の2億3千万円となりました。

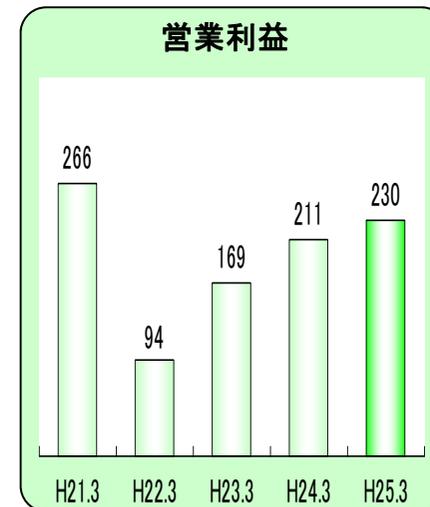


取扱商品の三菱電機(株)

FA(ファクトリーオートメーション)用制御機器



単位:百万円



単位:百万円

対処すべき課題

電機機器事業では、新規顧客の開拓を実施するとともに、エンドユーザーへの営業の強化と販売店との関係強化に引き続き取り組んでまいります。また、組織の活性化により営業力、技術力の強化にも取り組んでまいります。主力のFA関連機器では、リニューアルを中心としたシステム受注の拡大に注力してまいります。設備機器では、引き続き既存顧客の需要開拓に取り組むとともに、新規商材の検討にも取り組んでまいります。

— 車両関係事業 —

業 績

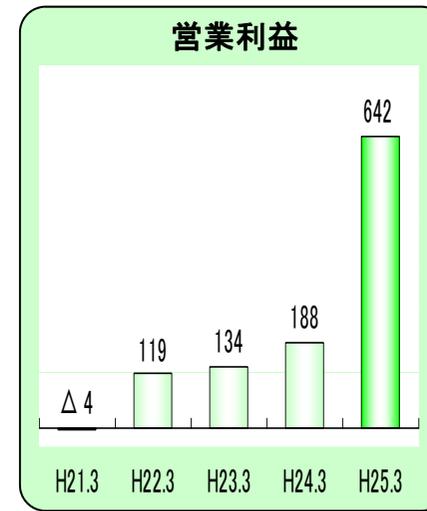
新車販売は、平成23年12月に投入した新型インプレッサ及び平成24年10月に投入した新型フォレスターが好調に推移したことに加え、期前半にはエコカー補助金の効果もあり、単価の大きい登録車の販売台数が大幅に増加いたしました。また、輸入車販売においても新型車の投入により売上を伸ばしました。一方、中古車販売、サービス部品部門はほぼ前年同期並みに推移いたしました。これらの結果、売上高は前年同期を大きく上回り、前年同期比25.1%増の152億3千2百万円、営業利益は増収により前年同期比240.6%増の6億4千2百万円となりました。



スバル インプレッサSPORT



単位: 百万円

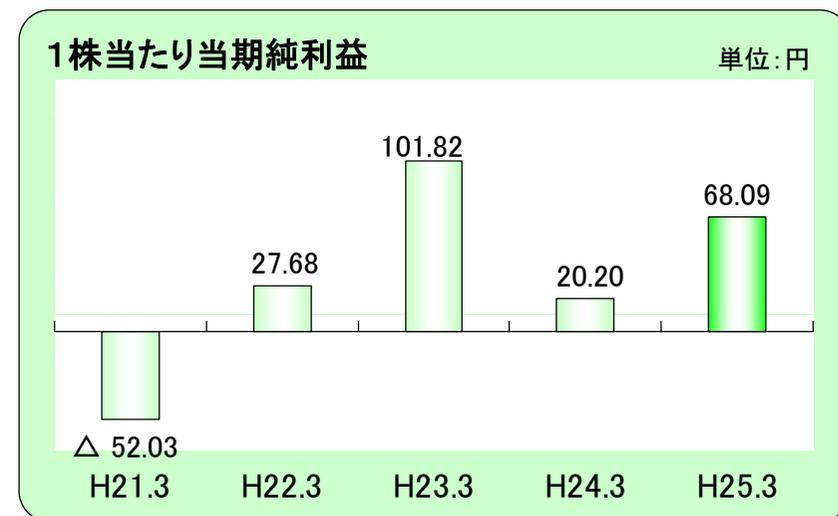
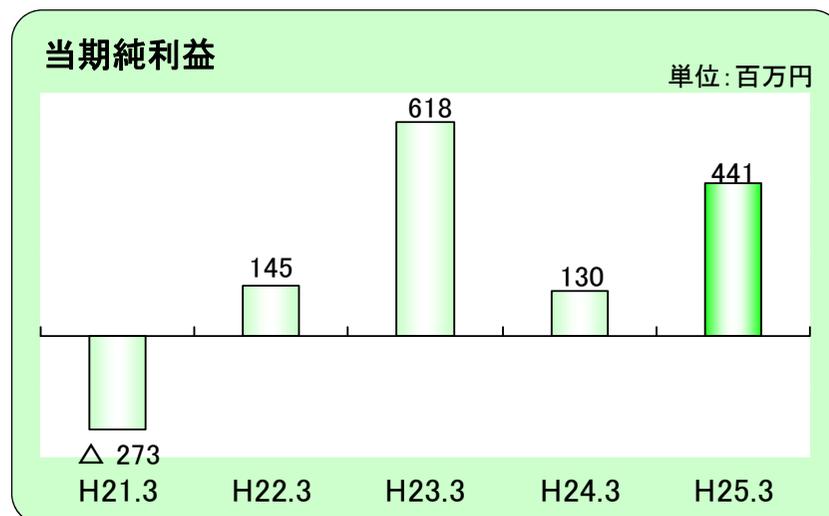
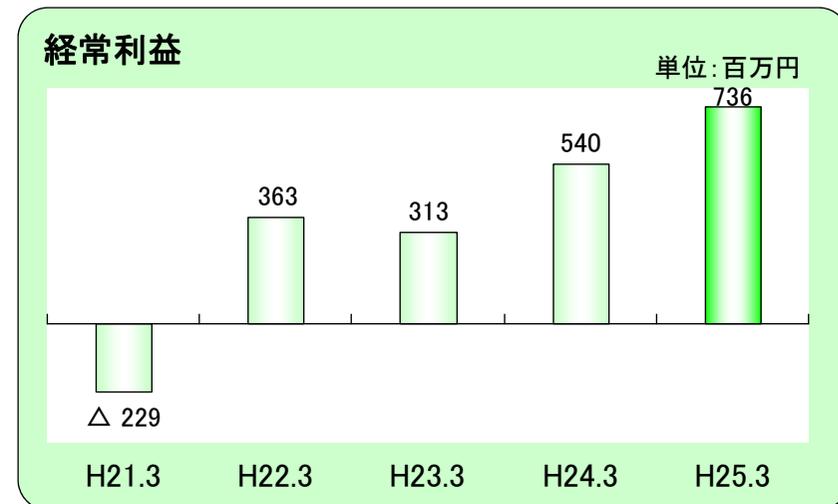


単位: 百万円

対処すべき課題

車両関係事業では、現在の売上規模に見合った営業体制への転換を図り、固定費削減をはじめとした経営効率の向上を推進するために、引き続き営業拠点の統廃合を進めてまいります。また、店舗の運営体制などの見直しを進め、お客さまが来店しやすい環境を作るとともに営業力、技術力の強化に取り組んでまいります。引き続き、新車販売台数の増加に努めるとともに整備部門などの周辺事業の収益力の強化にも取り組んでまいります。

業績の推移（連結）



連結財務諸表

連結貸借対照表

単位：千円

資 産 の 部			負 債 及 び 純 資 産 の 部		
	平成24年3月31日現在	平成25年3月31日現在		平成24年3月31日現在	平成25年3月31日現在
流動資産	8,704,472	9,109,339	流動負債	3,649,423	4,246,235
現金及び預金	3,241,176	3,716,630	支払手形及び買掛金	2,172,166	2,299,564
受取手形及び売掛金	3,730,114	3,506,514	そ の 他	1,477,257	1,946,671
たな卸資産	1,263,449	1,350,456			
そ の 他	474,272	538,183	固定負債	1,229,076	1,189,674
貸倒引当金	△ 4,541	△ 2,446	〈負債合計〉	〈 4,878,500 〉	〈 5,435,910 〉
固定資産	7,895,789	8,651,647	株 主 資 本	11,331,831	11,669,474
(有形固定資産)	(5,979,374)	(6,326,971)	資 本 金	1,337,000	1,337,000
建物及び構築物	1,802,991	1,803,949	資 本 剰 余 金	1,833,576	1,833,576
土 地	3,285,711	3,289,247	利 益 剰 余 金	8,161,926	8,499,596
そ の 他	890,671	1,233,774	自 己 株 式	△ 671	△ 697
(無形固定資産)	(48,016)	(154,598)	その他の包括利益累計額	389,929	655,602
(投資その他の資産)	(1,868,398)	(2,170,077)	その他有価証券評価差額金	389,929	655,602
投資有価証券	1,446,622	1,794,948			
そ の 他	421,922	375,275	〈純資産合計〉	〈 11,721,761 〉	〈 12,325,077 〉
貸倒引当金	△ 146	△ 146			
資産合計	16,600,261	17,760,987	負債及び純資産合計	16,600,261	17,760,987

連結損益計算書

単位:千円

	平成24年3月期	平成25年3月期
売上高	22,873,350	25,206,763
売上原価	18,286,892	20,150,208
販売費及び一般管理費	4,097,411	4,367,709
営業利益	489,046	688,844
営業外収益	88,040	89,604
営業外費用	36,796	42,378
経常利益	540,290	736,070
特別利益	5,133	53,727
特別損失	101,866	65,353
税金等調整前当期純利益	443,557	724,444
法人税、住民税及び事業税	96,074	280,324
法人税等調整額	216,495	2,734
当期純利益	130,987	441,385

連結株主資本等変動計算書 (平成25年3月期)

単位:千円

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成24年4月1日 残高	1,337,000	1,833,576	8,161,926	△ 671	11,331,831
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△ 103,716		△ 103,716
当期純利益			441,385		441,385
自己株式の取得				△ 26	△ 26
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額 (純額)					
連結会計年度中の変動額合計	-	-	337,669	△ 26	337,642
平成25年3月31日 残高	1,337,000	1,833,576	8,499,596	△ 697	11,669,474

	その他の包括 利益累計額	純資産合計
平成24年3月31日 残高	389,929	11,721,761
連結会計年度中の変動額		
剰余金の配当		△ 103,716
当期純利益		441,385
自己株式の取得		△ 26
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額 (純額)	265,673	265,673
連結会計年度中の変動額合計	265,673	603,316
平成25年3月31日 残高	655,602	12,325,077

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:千円

	平成24年3月期	平成25年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,480,667	1,567,727
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,115,226	△ 967,084
財務活動によるキャッシュ・フロー	54,082	△ 140,913
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	0
現金及び現金同等物の増減額	419,523	459,729
現金及び現金同等物の期首残高	2,789,412	3,208,935
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	15,721
現金及び現金同等物の期末残高	3,208,935	3,684,385

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、36億8千4百万円であり、前連結会計年度末から4億7千5百万円の資金が増加(前連結会計年度は4億1千9百万円の資金が増加)いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローについては、税金等調整前当期純利益が7億2千4百万円でありましたが、売上債権の減少、仕入債務の増加による資金の増加等により、15億6千7百万円の資金が増加(前連結会計年度は14億8千万円の資金が増加)いたしました。

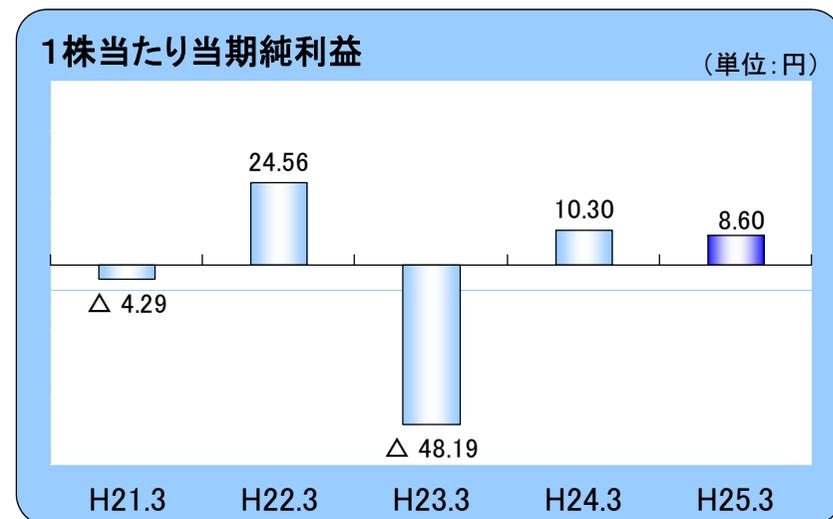
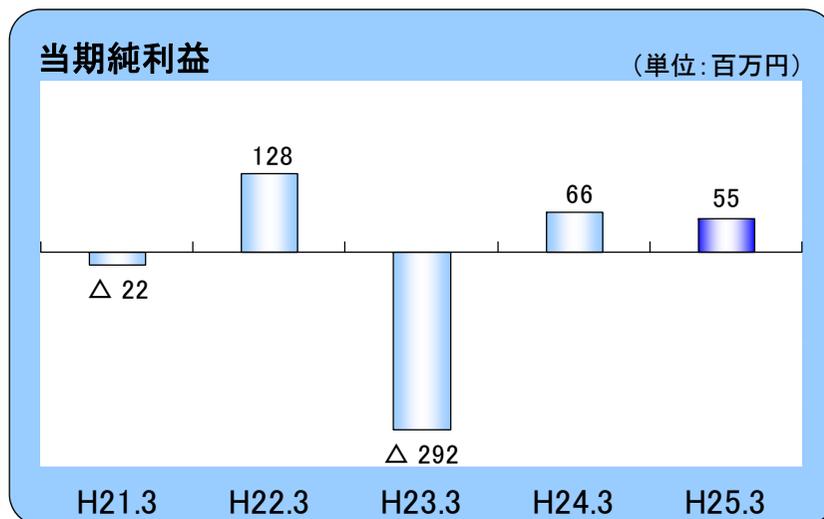
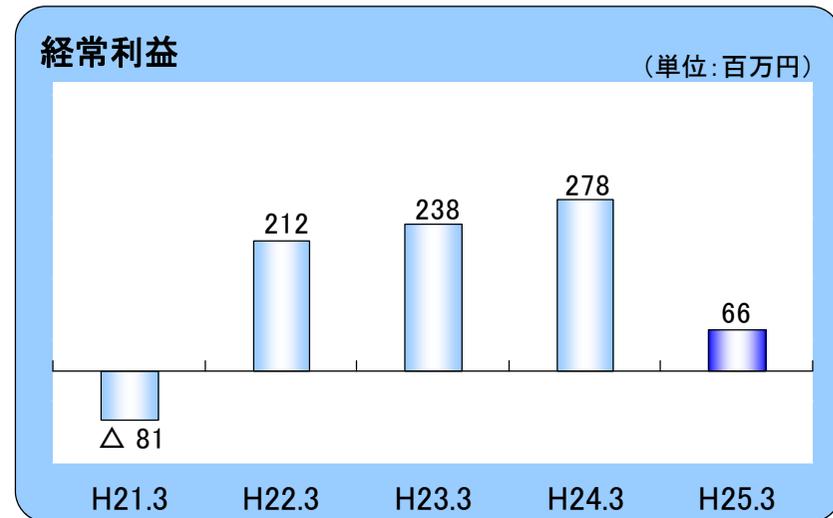
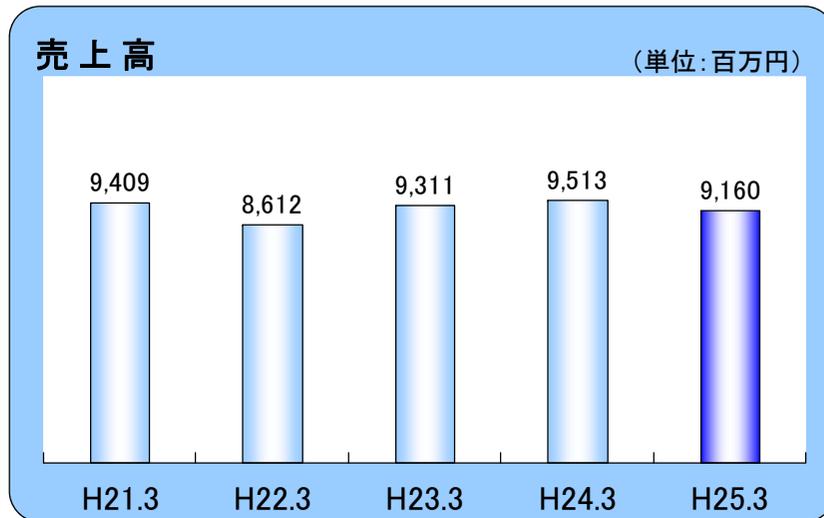
(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローについては、有形固定資産の取得による資金の減少等により、9億6千7百万円の資金が減少(前連結会計年度は11億1千5百万円の資金が減少)いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローについては、配当金の支払による資金の減少、長期借入金の返済による資金の減少等により、1億4千万円の資金が減少(前連結会計年度は5千4百万円の資金が増加)いたしました。

業績の推移（個別）



個別財務諸表

貸借対照表

単位:千円

資 産 の 部			負債及び純資産の部		
	平成24年3月31日現在	平成25年3月31日現在		平成24年3月31日現在	平成25年3月31日現在
流動資産	5,414,855	5,085,579	流動負債	1,344,580	1,429,690
現金及び預金	2,115,688	1,845,619	支払手形及び買掛金	759,000	772,010
受取手形及び売掛金	2,495,942	2,456,322	そ の 他	585,579	657,680
たな卸資産	613,162	580,926			
そ の 他	192,313	204,679	固定負債	624,601	693,358
貸倒引当金	△ 2,249	△ 1,969	〈負債合計〉	〈 1,969,181 〉	〈 2,123,049 〉
固定資産	5,980,309	6,614,122	株主資本	9,083,841	9,035,869
(有形固定資産)	(2,354,114)	(2,619,263)	資 本 金	1,337,000	1,337,000
建物及び構築物	666,803	733,824	資 本 剰 余 金	1,833,576	1,833,576
土 地	1,183,315	1,229,897	利 益 剰 余 金	5,913,936	5,865,990
そ の 他	503,995	655,541	自 己 株 式	△ 671	△ 697
(無形固定資産)	(34,394)	(138,949)	評価・換算差額等	342,141	540,782
(投資その他の資産)	(3,591,800)	(3,855,909)	その他有価証券評価差額金	342,141	540,782
投資有価証券	1,224,464	1,483,329	〈純資産合計〉	〈 9,425,983 〉	〈 9,576,652 〉
そ の 他	2,367,580	2,372,811			
貸倒引当金	△ 244	△ 232			
資産合計	11,395,165	11,699,701	負債及び純資産合計	11,395,165	11,699,701

損益計算書

単位:千円

	平成24年3月期	平成25年3月期
売上高	9,513,631	9,160,111
売上原価	7,944,574	7,676,948
販売費及び一般管理費	1,381,476	1,515,534
営業利益	187,579	△ 32,371
営業外収益	118,540	130,233
営業外費用	27,385	31,365
経常利益	278,734	66,496
特別利益	-	53,421
特別損失	82,607	53,723
税引前当期純利益	196,127	66,194
法人税、住民税及び事業税	46,283	8,947
法人税等調整額	83,030	1,476
当期純利益	66,813	55,770

株主資本等変動計算書 (平成25年3月期)

単位:千円

	株主資本					評価・換算 差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
平成24年4月1日 残高	1,337,000	1,833,576	5,913,936	△ 671	9,083,841	342,141	9,425,983
事業年度中の変動額							
剰余金の配当			△ 103,716		△ 103,716		△ 103,716
当期純利益			55,770		55,770		55,770
自己株式の取得				△ 26	△ 26		△ 26
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額 (純額)						198,641	198,641
事業年度中の変動額合計	-	-	△ 47,945	△ 26	△ 47,972	198,641	150,668
平成25年3月31日 残高	1,337,000	1,833,576	5,865,990	△ 697	9,035,869	540,782	9,576,652

トピックス

■ SUBARU XV HYBRID発売開始

平成25年6月24日にスバル初のハイブリッド車「SUBARU XV HYBRID」が発売となりました。個性弾けるスタイリング、モーターアシストが生む新感覚の走り、アイサイトの絶大な安心感、そして乗る人のアクティビティを刺激する燃費性能。シンメトリカルAWDの運動性能を活かした走りの良いスバルのハイブリッドです。SUBARU XV HYBRIDは、連結子会社である静岡スバル自動車(株)の取扱商品です。



SUBARU XV HYBRID

■ 「CELLFiT」シリーズの展示会出展

当社包装機械事業部門で取り扱っている包装機械のうち、汎用小型充填機のシリーズを、このたび「CELLFiT」シリーズとして商標登録し、さらなる販売強化を行うこととしました。同シリーズは、多様化するお客さまのニーズに対応するため、多品種少量・小ロット生産に適した機械であります。また、下記の展示会にも出展し好評を得ております。

・FOOMA JAPAN 2013国際食品工業展(東京)

平成25年6月11日～14日

・プロパックアジア2013(タイ(バンコク))

平成25年6月12日～15日

(FOOMA JAPAN 2013 出展機)



半自動充填機

半自動巻封機

(プロパックアジア2013 出展機)



汎用小型充填キャップ機

平成26年3月期業績予想（連結）

■ 連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第2四半期	12,300 <small>百万円</small>	130 <small>百万円</small>	150 <small>百万円</small>	60 <small>百万円</small>
通 期	25,000 <small>百万円</small>	380 <small>百万円</small>	420 <small>百万円</small>	250 <small>百万円</small>

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 38円56銭

（注）上記の業績予想は、本資料発表日現在における将来に関する前提・見通し・計画に基づく予想であり、実際の業績は様々な要素により異なる結果となる可能性があります。

